

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



学校だより

No. 10 さいたま市立神田小学校
令和6年 2月1日発行 TEL (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を
たくましく生きる神田の子
・かしこく・たくましく・あたたかく

学校の強み

校長 米玉利 優子

「校長先生、私、神田小が大好きなんだ。」「そうなんだあ。どんなところが好きなの?」「あのね、通学班の班長さんはいつもおはようって笑顔で言ってくれるし、クラスの間みんなも困ったときには助けてくれるんだよ。」「あとね、ふざけて掃除をしている人に『ちゃんと掃除をやろうね。』って6年生が言ってくれたんだよ。かっこいいよね。」放課後、校庭に遊びに来ていた2年生が楽しそうに話してくれました。「神田小が好き は 神田小にいる人が好き」なのだなと思うと、凍えるような寒さも忘れちゃった。そして、私も思いを言葉にしてくれるかわいい2年生がいる、この神田小が大好きだなと心から思い、あたたかい春のような気持ちになりました。

3学期の始業式には、2つのことを話しました。1つ目は、令和5年度の約束「いつも心に 3つのC chanceにchallengeしてchange」3学期はそのまとめの時。どんなことにチャレンジして成長するか楽しみにしていますということです。2つ目は、「人を大切にする」自分がされて嬉しいかな、言われたら嫌じゃないかなと考えて行動しようということです。子どもたちは大きな声で返事をしながら一生懸命に話を聴いてくれました。この子たちは伸びる!そう確信したひと時です。6年生の教室前面には、学年集会後に作成したという掲示物があります。

「人を大切にする ～ひそかな思いやり～ ひ 表現力 そ 想像力 か 観察力」

クラスで話し合い、自分たちで決めた「ひそかな思いやり」その横には、人、物、表情、言葉、態度と記されています。下学年にかっこいいと思ってもらえる6年生になれる理由はこれだとわかりました。人に言われたからやるのではなく、相手の様子をよく観察し、気持ちを想像し、豊かな言葉で表現できる人になりたいと、自らが願い努力するからこそ、人は成長できる…6年生の後ろ姿は今まで以上に大きく、たくましく、輝いて見えました。

1月22日から26日までの給食週間では、各クラスで給食標語を作成し、様々な郷土料理にも触れました。ワゴンステーションで片づけをしている調理員さんに「給食おいしかったです。」「いつもありがとうございます。」と声をかけ、楽しそうにおしゃべりをしている姿…学校のすばらしさを痛感します。2学期末には、給食室のみなさんへの感謝の思いにあふれたメッセージが、給食室前の壁いっぱい貼られました。お礼を伝えたいと考えた子どもたちの心がしっかりと届き、「これを見ると元気になります。毎日おいしい給食を作りますね!」と、調理員さんはいつも嬉しそうに笑って給食室に入って行きます。心の交流こそ学校の強みであるのだと感じます。そして、いつも子どもたちの登下校の安全を見守ってくださる交通指導員の方々や地域の皆様が、「元気なあいさつだね。」「今日は元気ないね。どうしたの?」と毎日声をかけてくださっている姿も、学校の強みである心の交流だと確信し、衷心より感謝申し上げます。寒い日が続きます。どうぞご自愛ください。

保護者の皆様、地域の皆様には、今月も人を大切にしている見本として、様々なことにチャレンジし、伸びようとする子どもたちをあたたかく見守り、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。